

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

# 港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2025

秋号

<No.211>

## CONTENTS

- 「高松港みなとフェスタ」開催
- 備讃瀬戸航路水島航路交差部の浚渫工事完了
- リフレッシュ瀬戸内
- 「飛鳥Ⅲ」高松港初入港



国土交通省 四国地方整備局  
高松港湾・空港整備事務所



【美讃の一般公開】



【あなぶきアリーナ香川でのシンポジウム】

## 高松港みなとフェスタ開催

今年の夏もうだるような暑さが続きました。気象庁によると6～8月の平均気温は統計開始以来127年間で最も高となり最も暑い夏だったようです。

さて、そんな史上最も暑い夏でしたが、7月21日の「海の日」に、「高松港みなとフェスタ」をポート高松で開催しました。

今年度は、これまで実施してきた海面清掃兼油回収船「美讃」の一般公開、高松港湾空港技術調査事務所の公開液状化実験に加えて、令和7年2月24日に開館した「あなぶきアリーナ香川」の交流エリアでのパネルディスカッションや民謡のパフォーマンスを行いました。また、県営棧橋から、港湾業務艇「さんせと」による港内クルーズも行いました。

まず、あなぶきアリーナでは、香川大学地域・産官学連携戦略室の若井健司特命教授の海の民謡パフォーマンスを皮切りに、香川大学創造工学部の末永慶寛教授の藻場に関する基調講演、香川大学経済学部の古川尚幸教授にコーディネートをお願いしてパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、「これからの高松港」をテーマに様々な意見が交わされ、「高松港から街に運河を通して船で移動できるようにしてはどうか」、「屋島や庵治への船便を作る」、「水族館をきっかけに海を好き

になってもらう」など、ユニークな意見も出ました。

「さんせと」による港内見学ツアーは大変盛況で、当初の定員を上回るたくさんのご応募を頂きました。当日は子供から大人まで幅広い年代の方々に、海から見える高松港の景色を楽しんでいただきました。乗船された方からは、港の施設について質問を頂いたり、「瀬戸内海の綺麗な島や海が見えてよかった」との声を頂きました。

海面清掃兼油回収船「美讃」の一般公開についても、訪れた方々、特に子供さんが船内の設備を熱心に見学されている様子が印象に残っています。参加いただいた方からは「普段見られないものが見られてよかったです」、「カッコよかったです。海をきれいにしてくださいありがとうございます」、「海の安全、美しさを守ってください感謝します」などのうれしい感想をいただきました。

近年、サンポート高松周辺では、再開発が進み、高松港周辺も多くの人で賑わいを見せています。当事務所においても引き続き、関係機関と連携し、高松港の賑わい創出に向けた取り組みを進めて参ります。

高松港湾・空港整備事務所長  
加藤 訓生



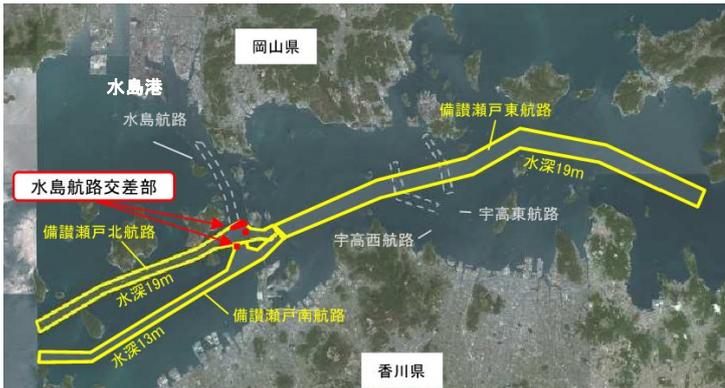
# 備讃瀬戸航路水島航路交差部の浚渫工事完了

備讃瀬戸航路は、瀬戸内海における海上交通の要衝であり、国際海上輸送及び国内海上輸送を担う船舶の航行安全性・効率性を支える重要な航路です。水島航路交差部では、潮流によって砂が運ばれ浅瀬が形成される「サンドウェーブ現象」による埋没が確認されており、令和3年度から浚渫工事を実施してきました。

この海域は、備讃瀬戸航路と水島航路との交差部にあたり、多くの船舶が航行していますが、海域が狭隘であるため、大型船が通航する際には浚渫工事を一時中断し、作業船は退避させる必要がありました。また、大型船の航行時間は前日の昼にならないと確定しないため、前日までに浚渫作業の実施可否の判断ができず、見通しを立てにくい工事となっていました。

しかし、航路利用者や漁業関係者、海上保安部、備讃瀬戸海上交通センター等の関係機関の協力により、9月23日に水島航路交差部の浚渫作業を完了することができました。これにより、当該海域では船舶がより安全に航行できるようになります。

一方、他の海域では、過去に浚渫を行った箇所が再び埋没し、浅くなっている箇所が確認されています。そのため、現在は、より長期間にわたり所定の水深を維持するための効果的な施工方法について検討を進めているところです。今後も利用者の意見を踏まえつつ、必要な事業及び検討を着実に進めてまいります。



浚渫の様子

## リフレッシュ瀬戸内

『瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（通称：海ネット）』では、「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸内の海」を合言葉に、市民ボランティアや地域の方々による海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を実施しています。今年度は6月1日の小豆島町を皮切りに県内約60箇所で行われ、延べ5,200人以上の参加者により、約25トンのゴミが回収されました。当事務所職員も各地の清掃活動に参加しました。

今後も、リフレッシュ瀬戸内を通じて美しい瀬戸内海を守る大切さを訴えていきます。



小豆島町夕江海岸で回収されたゴミ



東かがわ市にて

## 「飛鳥Ⅲ」高松港初入港



8月30日に「飛鳥Ⅲ」が高松港へ初入港しました。飛鳥Ⅲは全長230m、乗客定員740人の国内最大級のクルーズ船です。燃料に液化天然ガスを使用し、CO2の排出量を大きく削減できることが特徴です。入港時は高松城鉄砲隊による歓迎アトラクションや歓迎セレモニーが行われ、多くの人で賑わっていました。

なお、高松港の令和7年のクルーズ船寄港数は21隻の予定で、昨年より10隻増えます。今後も、ますますクルーズ船の寄港が増加することが期待されます。

●高松港湾・空港整備事務所  
〒760-0064  
高松市朝日新町1-30  
高松港湾合同庁舎3階(南側)  
TEL087-851-5522



●坂出港分室  
〒762-0002  
坂出市入船町1-5-26  
TEL0877-46-0311



国土交通省・四国地方整備局  
高松港湾・空港整備事務所  
【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください！  
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと  
**0120-497-370**

受付時間\*：9:30～12:00と13:00～17:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) \*一部の地域を除きます。